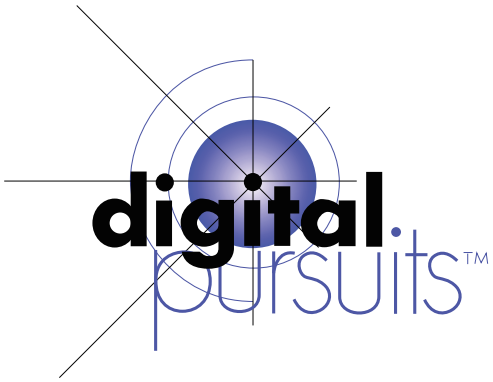
Digital Camera Battery

取扱説明書



Model # DCB40WB
Model # DCB80WB

T. P. C.
ティ　ピー　シー

株式会社ティ・ピー・シー
http://www.kktpc.co.jp E-mail : tpc@kktpc.co.jp

●東京●
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-26-17 野村ビル 206 Tel:03-5468-0231, Fax:03-5468-0320
●大阪●
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第 4 ビル B1-30 Tel:06-6341-6052, Fax.6341-3153
●九州●
〒812-0035 福岡市博多区中呉服町 2-7 博多村山ビル 1F Tel:092-263-7721, Fax:092-263-7722

安全にお使い頂くために

デジタル・パースーツ・カメラバッテリーは、非常に数多くの装置に電力を供給することができます。ご使用になる機器に合ったケーブルを使用しているかご確認ください。製品には身体に影響 (危険な) を及ぼす電圧、極性が含まれています。

ケーブルやコネクターは良く調べて適切なものを使用してください。

水に濡れるようなロケでの使用下では、高電圧のアダプターは大変危険なので絶対に使用しないでください。

湿り気のあるところには置かないでください。デジタル・パースーツ・カメラバッテリーは、湿度の高いところでも使用できるように設計されていますが、防水仕様ではありません。水分の浸入による故障は 1 年間保障の対象外となります。

純正の充電器及びケーブル以外は使用しないでください。不適当なケーブルを使用することは、あなたが使用している機器に確実にダメージを与え、デジタル・パースーツ・カメラバッテリーにも損害を与える可能性があります。デジタル・パースーツ・カメラバッテリーのコネクターには絶対に残量計等を差し込まないでください。電圧などで負担がかかりコントロールピンのショートや故障の原因になりユニットにダメージを与える可能性があります。不適切な使用によりあなたのデジタル・パースーツ・カメラバッテリーに不具合が生じた場合も、1 年間保障の対象外となります。

お客様ご自身でデジタル・パースーツ・カメラバッテリーのカバー等を外さないでください。パワーセル交換の際は、必ずお買い求めの販売店迄バッテリーをお持ち下さい。有料で交換致します。工場でパワーセルを交換する際はテストのための充電とお客様に返却する前に充電を行います。

このパワーセルはデジタル・パースーツ・カメラバッテリーに使用するためにデザインされています。パワーセルは異なった化学成分から作られており、古くなったデジタル・パースーツ・カメラバッテリーを使用すると液漏れや破裂する恐れがあります。デジタル・パースーツ・カメラバッテリーは、様々な撮影環境に対応するために最大の容量を持つ電池を使用して作られています。デジタル・パースーツ・カメラバッテリーには NiMH パワーセルのみを使用しております。

使用方法

全てのデジタル・パースーツ・カメラバッテリーは工場で完全なるテストを行っております。全てのユニットは完全な充電とそれぞれのコネクターを通して放電を行っています。ユニットは梱包する前に充電を行っています。しかし、高温の熱にさらされたり、長時間使用されていなかったりした場合は充電が必要となります。もしその場合は、デジタル・パースーツ・カメラバッテリーに充電器を接続してください。その後はこのマニュアルの後ろにある説明書に従い充電を行ってください。ユニットに触れて暖かくなっていれば充電の完了です。オーバーヒート防止のために充電中はデジタル・パースーツ・カメラバッテリーをケースから取り出し外気に当たるところに置いてください。使用しない時は常に AC 電源を抜くようにしてください。

ショルダーストラップを取り付けた後で、ブラケットやベルトクリップをマウントして、使用するケーブルを接続してください。デジタル・パースーツ・カメラバッテリーの電源をオンにしてください。緑の LED が点灯したら接続している機器のスイッチをオンにしてください。初めてデジタル・パースーツ・カメラバッテリーのスイッチを入れてもしばらくの間電源が立ち上がらない時は、重大なダメージがデジタル・パースーツ・カメラバッテリーに発生している可能性が有ります。

黄色の LED が点灯したら充電する事をおすすめしますが、8.5 ボルト以下でしたらそのまま使い続ける事ができます。高電圧のステップアップケーブルを閉じる事で適切にカメラの電源を落とす事ができます。

赤の LED が点灯したらバッテリーの残量が残り僅かですので、全ての機器の電源をオフにして、別のデジタル・パースーツ・カメラバッテリーと交換するか、もし接続している機器に内蔵のバッテリーがあるならばそのバッテリーに切換えてください。お使いの機器には全てバックアップを取られる事を推薦します。

赤の LED が明滅したらすぐに他のデジタル・パースーツ・カメラバッテリーと交換してください。放電の終わったパックはそのままにしても大丈夫です。赤の LED の明滅は電池切れのサインです。もし 8 時間以上充電を行わないときは、放電を防ぐためにもユニットをオフにしてください。

使用中は常に電力を消費しているのでデジタル・パースーツ・カメラバッテリーの充電のサイン (赤が点灯) が出たら残りの時間を当てにせず早めに充電してください。一定した規則正しい電力の供給はこのデジタルカメラバッテリーの特長の一つで、今のバッテリー市場この製品に相当するものはありません。

デジタル・パースーツ・カメラバッテリーに 100G を超える衝撃を与えないでください。どのような機器でも地面に落としたりすると何らかの損傷を受けるおそれがあります。パッド付のキャリーケースにデジタル・パースーツ・カメラバッテリーを入れておけば落としてしまった場合でも損害を軽減することができます。

メンテナンス

ご使用の前にデジタル・パースーツ・カメラバッテリーの充電を行ってください。充電中はスイッチがオンの状態でも出力しませんのでご注意ください。
お客様の用途に合わせスタンダードタイプ、ワールドワイド急速充電タイプ、自動車のソケットから充電できるタイプの充電器を用意しています。

充電中にバッテリーが熱をもってきたら充電がフルの状態です。一部の充電器には充電の終了を知らせるインジケーターが付いていますが、スタンダードタイプには付いておりません。

完全に電力を使い果たした状態からスタンダードタイプの充電器を使用して 40W のデジタル・パースーツ・カメラバッテリーに充電を行うと約 16 時間で充電が完了します。クイックチャージャを使用すると世界中何処でも 40W のデジタル・パースーツ・カメラバッテリーが約 3 時間で充電できます。クイックチャージャには、米国内使用向けの 120 ボルト AC パワーケーブルが付属していますが、使用する国の家電ショップ等で AC パワーケーブルは販売されています。80W のバッテリーの充電は上記時間の約 2 倍を目安としてください。

充電しても電力が長続きしなくなってきたら、パワーセルの交換の時期です。その際は必ず、お使いいただいている充電器もデジタル・パースーツ・カメラバッテリーと併せてご返送ください。有料で交換致します。その際に一緒にお送りいただいたスタンダード充電器の検査も行い、問題があるようであれば無償で修理・交換いたします。

もしお客様のデジタル・パースーツ・カメラバッテリーに何らかの障害が発生し、使用不能になった場合も同様に販売店を通してご返送ください。修理の費用は修理日時点での価格表にある価格の 50% を超えることはありません。もしそれ以上の費用がかかってしまう場合は、50% の費用を頂いたうえで交換を行い、さらにそこから一年間の保障期間を設けさせていただきます。
何故充電器のテストまで行うか疑問に思われるかもしれませんが、それはコントロールを越えた構成要素も考えられるからです。高電圧によるライティングや物理的に激しい使用は、様々な種類の問題が発生する要因があり、どのよう損傷が起きるかわかりません。
スタンダードタイプの充電器は非常に経済的ですが周囲の環境に影響されやすいということがあります。

アウトプット

NiMH 40W デジタル・パースーツ・カメラバッテリー @ 8V 実際には 38.52W。
全てのユニットは 90% 以上の高効率です。
他のパックからの未調整の出力は過電圧やコンディションが低くなるなど、精密な電化製品にダメージを与えます。リード・バッテリの未調整の出力やその他の多くのタイプの充電パックは非常に高い電流が流れケーブルが損害を受けたりショートしたりして火花等が出ることもあります。

キャパシティ

カメラバッテリ電圧 x AH レート = ワットキャパシティ（容量）

例 : 7.2V x 1.3AH = 9.36W(40W DCB は 4 倍以上の容量があります。)
デジタル・パースーツ・カメラバッテリーはカメラやフラッシュなど同時に複数のものに電力を供給することが出来ます。

以下は注意事項です。
●カメラの LCD モニタ を使用する場合は撮影と同等の電力を必要とします。
●カメラにセーブモードがある場合、接続している時に使用して見てください。
●カメラとストロボともともオン状態であれば電力を消費し続けますので、スタンバイ時は全ての電源をオフにしてください。
●機器を接続していなくても一部のケーブルに電力を消費するものがありますので、使用しない時はバッテリのスイッチをオフにしてください。
●絞り込んだときや長距離の撮影は、クローズアップや絞りを開けたときに較べると、より多くのフラッシュパワーを必要とします。
●レンズを通して画像を見るだけで、撮影しなくても電力を消費しています。
●バッテリを非常に寒い外気にさらしたり、直射日光に当てたり、極端な気候下に置かないでください。
●使用する前にバッテリの充電を行い、また必要以上に充電を続けないでください。
●充電する時はケースやホルダーから取り出してください、熱がこもると適切な充電の妨げとなります。

保証

1 年間の部品・消耗品保証

全てのデジタル・パースーツ・カメラバッテリーとそのアクセサリーには製造工程でのトラブルにより修理の必要がある場合、購入後 1 年間以内であれば無償で修理、交換をいたします。お手数ですが製品をご返却ください。
デジタル・パースーツ・カメラバッテリーを修理のためにご返却する際は必ず充電器も一緒にお送りください。商品受け取り後テストを行い、修理し最終テストをしてご返却致します。
お客様の間違った取り扱いにより発生した障害につきましては、部品代と工賃が別途必要となります。
現行の価格表の表示額の 50% を超える修理が発生した場合は、50% の料金にて交換いたします。
デジタル・パースーツ・カメラバッテリーとそのアクセサリーの修理の責務には限度があります。関連している他社製品につきましては保証外とさせていただきます。

返送先住所

株式会社ティ・ピー・シー
〒 150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-26-17 野村ビル 206

最新のインフォメーションはウェブサイトをご覧ください
www.kktpc.co.jp

仕様

充電時間 : DCB 40WB - 24VDC@200mA = 16 時間 (スタンダードチャージャ)
DCB 80WB - 24VDC@200mA = 32 時間 (スタンダードチャージャ)
DCB 40WB - 24VDC@0.8A = 3 時間 (クイックチャージャ)
DCB 80WB - 24VDC@0.8A = 6 時間 (クイックチャージャ)

出力 : 1.2 - 16 VDC @ 0 - 5 A x 2 口

気温 : 有効範囲／摂氏 0 度 ~ 49 度 (最適の条件 : 摂氏 21 度)
周囲の状況が摂氏 32 度以上になった場合は使用をお薦めできません。

湿度 : 30 ~ 85%

寸法 : DCB 40WB = 16(H) x 7.2(W) x 3.3(D) cm
DCB 80WB = 26.3(H) x 7.2(W) x 3.3(D) cm

重量 : DCB 40WB = 734g
DCB 80WB = 1,288g

スタンダードチャージャ :
入力 : 120VAC/60Hz/7.5W
出力 : 24VDC200mA
温度 : 有効範囲摂氏 7.8 度 ~ 50 度・湿度 : 30 ~ 85%
寸法 : 7.6(H) x 6(W) x 4.6(D) cm / 重量 : 289g

ワールドワイド・クイックチャージャ :
入力 : 100-240VAC/47-63Hz/0.7 A
出力 : 0-30VDC/0.8A
温度 : 有効範囲摂氏 7.8 度 ~ 50 度・湿 : 30 ~ 85%
寸法 : 10.8(H) x 6.6(W) x 3.3(D) cm / 重量 : 255g